

3. 2017 年度活動概要

「応用認知言語学研究会」は、2013 年度より九州・沖縄支部に発足した新しい研究会です。本研究会は、言語学の分野で近年成果が著しい「認知言語学」の知見を、言語教育、特に英語教育の現場へどう生かすかを探るという観点から活動しています。

2017 年度は、年度末の 3 月 22 日（木）に第 10 回の研究会を西南学院大学において福岡認知言語学会との共催で開催しました。研究会では、「従事と時間－メトニミー的観点から」、「百科事典的意味論からみる英語中間構文再考」、「日本語の事態認知と他動詞文」、「日英認知モードの違いから見た英語文法発達指標の検討－英語学習不振者を中心に」の 4 件の研究発表を行った後、前日本認知言語学会副会長の中村芳久先生による、「認知言語学と英語教育」というタイトルでの講演を行いました。当日は 24 名の参加者があり、非常に活発な質疑応答が行われました。また、中村先生による講演は、言語理論の初心者にも分かりやすいもので、好評裡に終了しました。

また、2017 年 8 月 29 日～31 日に青山学院大学で開催された大学英語教育学会第 56 回国際大会において、研究会ポスターセッションでポスター発表を行い、本研究会の活動内容について広報を行いました。